

## 政務活動に係る活動報告書

会 派 名	蔵王
活 動 項 目	先進地視察・研修会開催・○研修会参加・その他（ ）
年 月 日	令和4年4月12日
参 加 者 名	佐藤光義 谷江正照 石山正明 尾形みち子
視 察（ 研 修 ） 地	全国市町村国際文化研修所よりオンラインにより受講
目 的	観光まちづくりについての研修のため
調査（研修）項目等	歴史的資源を活用した観光まちづくり
概 要	<p>現在、民間が保有する歴史的建造物、国や行政が保有する歴史文化遺産、神社仏閣が保有する資産に、それぞれ様々な形で税金が投入されていますが、今後税収減が進むことで税による下支えをいつまで続けていけるか先行きは楽観できない状況です。イタリア等では、家屋や施設などが古くなると、逆に不動産価値が上がることも珍しくない状況ですが、日本は逆に古い建物は文化的価値と資産的価値が伴わない場合が多く、不動産価値が付かない、売れない、しかし維持管理には多額のお金がかかる現況が大変多く、まちづくりに於いてこれらが様々な課題となる現状との事です。</p>
所 感	<p>いかに文化的価値がある建物等とはいえ、人口減少に伴う税収減の為、税による保全是難しくなっていく時代となります。失われる歴史的資産への対策には、収益化やマネタイズがポイントになるとの知見や、今後は文化的価値がある物や地域資源を残す為に、いかにしてお金を回していくのか、運営を自走できるようにしていくのが課題解消の大きな助けになると考え、本市においても産学官民金を挙げて、マネタイズの仕組みを検討する必要性を感じた研修でした。</p>